

子どもたちのインターネットでのいじめやネット依存が社会問題となる中、県教委はスマートフォンの使い方について親子で話し合うきっかけにしておうと、ルールや危険性を啓発した2019年度版カレンダーを作製した。公募したデザインには静岡理工科大4年の松下孟樹さんの

親子でスマホルール 学べるカレンダー

作品を選んだ。カレンダーはA3判。カンガルーの親子が無料通信アプリ「LINE(ライン)」を模した画面で、スマホを使うルールや使いすぎる危険性などについてやりとりしているデザイン。フィルタリングの活用やネットで動画や画像を公開する際の注意など六つのル

静岡理工科大生がデザイン 県教委作製



自身がデザインしたカレンダーを手にする松下孟樹さん(県庁)

ルも掲載した。8万2千部を作製した。4月に新小学4年と新中学1年になる児童・生徒を対象に、1月から配布を始めている。デザインは4作品の中から選ばれた。このほど県庁で県教委の担当者から感謝状を受け取った松下さんは「親しみやすさを心掛けた。正しい使い方について親子で話すすきっかけになればうれしい」と述べた。